

「車いすソフトボール体験」

令和5年10月24日（火）13:

25から、1年生は総合学習の時間に
体育館で、パラスポーツの1つである

「車いすソフトボール」を体験しまし
た。「パラスポーツ」は今、健常者も障
害者も同じルールの下で行えるスポ



ーツとされています。何より障害につ
いて、体験しながら可能性について考
えたり、障がいとはなにかについて考
える良い機会になりました。そもそも
「車いすソフトボール」って、普段な
かなか耳にすることもないかもしれ



ません。

車いすソフトボールの発祥はアメ
リカで、約44年前から全米選手権が
行われており、ボストンレッドソック
ス、シカゴカブスなどメジャーリーグ
チームのサポートを受けて運営して





いるチームも多くあります。日本においては、2012年にアメリカで開催されたワールドシリーズに日本代表チームを結成したのがスタートで、現在、全国で20チームが活動しており、2028年のロスパラリンピックでの正式種目

入りを目指しています。今回は、なんと日本代表の方が講師として来てくださり、その楽しさや難しさも話してくださいました。1チーム10人で、5回まで。普通のソフトボールとほぼ同じルールで行われます。生徒はみんな真剣な表情で楽しく学習できました。多くの生徒からは、『障害のある方の大変さがよくわかったので何かできることがあれば進んでほしい。』『操作は難しかったけど楽しくいろいろなことが学べました』などの感想がありました。



1年生の皆さん、福祉学習を通してよい学びになりましたね。この学びを日ごろから実践していきましょうね。